

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	人権地域フォーラム開催事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	人権教育および人権啓発の推進に関する法律	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがい感じる まちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なる			終期
(小項目)		人権			
施策	1	人権の尊重			
基本事業	1	人権行政の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何を)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民及び板野郡5町住民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	フォーラムを通して、一人ひとりが人権に関する正しい理解と認識を深め、人権が尊重される社会の実現に向けて「共に学び、共に考える」人権尊重のまちづくりを目的として開催する。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	市民に大変好評を得ている研修会の一つであり、毎回会場が参加者でいっぱいとなっている。 今後は、さらに市民生活に密着したフォーラムとなるよう、企画等に検討を加えながら開催したい。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		参加人数	230	240	250	250	250	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決を図り、差別のないまちづくりを推進するためには、広域的な教育・啓発を図る必要があるため、鳴門市と板野郡5町の共催で開催し、地域に根ざした人権啓発の在り方を共に学び共に考えるため、パネルディスカッション形式で人権問題研修会を実施する。 日時 平成26年8月8日(金)13:30～16:30 場所 うずしお会館					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 アンケートへの回答数	154	106	250	250	250	枚
	2 アンケート調査に参加いただき、フォーラムの内容について理解できた・ほぼ理解できたと答えた構成比	95.5	99.1	100	100	100	%
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	参加人数	252	230	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		95.8	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	230	0	0	61	291
		全体予算額	0	126	0	0	141	267
		決算額	0	126	0	0	141	267
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
0.17		0.0		1,169		1,436		

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	251	267	160	275	275
	うち一般財源	19	141	160	72	72
	人件費	1,108	1,169	1,169	1,169	1,169
	総事業費	1,359	1,436	1,329	1,444	1,444

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	市内外から多数の参加者があり、お互いに意見を述べ合う「語り合いの学習」が実現されており、差別のないまちづくりという事業目標の達成に有効である。
	効率性	A:効率的だった	なお一層、鳴門市民が「出会いの場」「交流の場」に参加いただき、他者とつながっていてもらえるよう努める。
②成果に対する評価	指標名	参加人数	
	目標	240	人
	実績	230	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	
③総合的な評価		A	毎回、多くの参加者があり、会場からも人権に関する理解と認識を深めるための活発な意見交換の場となることからA評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市の人権啓発主要行事として定着し、毎回、市内外から多くの参加者が人権教育について「共に学び共に考える」機会となっている。課題として、より多くの市民が、人権に関する正しい理解と認識を深める機会となるよう参加を促すための周知広報を強化していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	8月5日(水)、13時30分から、うずしお会館において、「ひとごと」から「わがこと」へをキーワードに、パネルディスカッション形式で、パネリストや当日参加者からの意見を聞きながら、一人ひとりの人権意識を磨く「語り合いの学習」を開催する。			
	H28年度	以降継続実施			